

エネルギーも
地産地消の
時代ですよ。

かねこ しのぶ
金子美登が問う

町のエネルギー 自給を

Q 町における再生可能なエネルギーの
取り組みについて、次の5点を確認
する。

- ① 生ごみ資源の活用は。
- ② 廃食用油の回収状況は。
- ③ 太陽光発電及び非常用蓄電池の設置状
況は。
- ④ 廃食用油による非常用発電機の活用は。
- ⑤ 森林資源活用による電力自給への町の
考え方は。

A 環境農林課長 ①実証実験は開始後
15年、新プラントは10年経過し、今



廃食用油活用用の防音型インバータ発電機
（7キロワット）。

年は新施設のデータを整理し検証します。
② 公民館等7カ所で平成24年から始まっ
た廃食用油の回収は、25年度は2291
リットルで、業者の引き取り単価1リット
ル当たり5円、供給単価130円、配送料
は別途です。バイオディーゼル燃料⁷の利
用は給食センター配送車1台に加え、10人
乗りの庁用車両1台を拡大利用しています。
③ 太陽光発電及び非常用蓄電池は、役場
庁舎ほか4カ所に設置。いずれも順調に稼
働しており、余剰電力の一部は購入電力量
を抑制しています。
④ 今後は車両燃料のみに利用しています。
⑤ 昨今話題のCLT（直交集成板）も森
林組合等と連携した活用を図ります。また
木質バイオマス発電も地域の林業振興に寄
与するものと認識しています。



議会はこんな活動も 議場を飛び出し^西へ^東へ “行動する小川町議会”

好評でした！^{議会議場} 和紙を使った灯籠づくり



紅葉まつり

平成27年11月28日

昨秋、開催された紅葉まつり。議会もまつりを盛り上げるべく、小川和紙を使用したミニ灯籠づくりに挑戦するブースを設営し、ご好評の声をいただきました。2000人を超える来場者の後押しもあり、今秋11月19日に第2回の開催が決定したとのこと。もちろん議会も参加します！
内容はどうぞご期待。ぜひ、栃本親水公園へご来場ください。

伝統のまつりで小川和紙の魅力を大いに発信

寄居北條まつり

平成28年5月8日

今年も東秩父村議会の皆さんとともに「細川紙甲冑隊」^{かつちゅうたい}の名で参加してきました。市街地を闊歩する武者隊の英姿や、玉淀河原で繰り広げられる合戦の様子は、戦国絵巻さながら。また、飲食・物産会場では、にぎわい創出課職員の協力で、和紙の折染め体験コーナーを設営いただきました。用意した体験キットは、終了時刻を待たずして完売とのことでした。第55回を数えた歴史と伝統あるまつりで、細川紙をはじめとした小川和紙の魅力を大いに発信できました。



「今度、息子たちが戻ってくるのよ」「二世帯住宅を建てることになったのよ」

最近、私が聞いた最もうやましい話です。しかし、別の友人からは、「戻って来てほしいけど言えない。働く場所がないしねえ」とか、「でも、八和田は結構若い夫婦が戻って来ているんだよ」と、聞くこともあります。

成長した子どもが家を継ぐ。当たり前だと思っていたことが、こんなにもすばらしく、実は、こんなにも難しいことだったとは……。我が子が、ずっと住みたいと思える魅力的な町を。また、ここで子育てをしたいと思える町、子どもたちの声がたくさん聞こえる町であってほしい。

少子化、核家族化がもたらしているものは何だろう。私は、大家族、にぎやかな家庭が大好きです。孫たちと遊びながら、大人数で暮らすことが、今の私の夢です。



私の夢

高橋修子さん（高見）
Nobuko Takahashi



感謝しています

鈴木理枝さん（下里二）
Rie Suzuki

私は、3人の子どもを育てている母親です。子どもたちは、それぞれ小中学校に通っています。パパだけでなく私も仕事を抱えているので、朝から晩まで家の中はバタバタ。家事に育児に追われ、あっという間に1日が過ぎていきます。

小川町には、私たちの子育て世代に対し、保育園やファミリーサポートセンター、学童保育等さまざまな助成をいただいています。世代特有の相談を受け入れていただき、とても助かっています。

職場では、急な早退や欠勤にも「子育てを第一に」と、皆さんが温かい言葉をかけてくれます。地域の方には、登下校時の安全を見守っていただいています。

子どもたちが日々笑顔で楽しく学校へ通えるのは、「多くの方々のさまざまなサポートがあってこそ」と、感謝している毎日です。

わたしの
ヒトコト

解説 バイオディーゼル燃料⁷

菜種油やひまわり油などの植物由来の油や、てんぷら油などの廃食用油からもつくられるディーゼルエンジン用の燃料。BDFと略される。近年、CO2削減の手段として注目されている。